厚生労働省岐阜労働局
関労働基準監督署　発表
平成２３年７月１３日

関労働基準監督署
署　　長　　佐藤　健治
安全衛生課長　　早川　政志
電　話　０５７５－２２－３２５１

「産業医と衛生管理者の集い」の開催について

労働者の健康を取り巻く状況を見ますと、厳しい経済情勢の中、職業生活等において強い不安、ストレス等を感じる労働者は６割に上っており、また、当署においてメンタルヘルス上の理由により休業した労働者がいる事業場は、労働者数１００人以上の事業場において約３割となっています。このように、心の健康問題により休業する労働者への対応は多くの事業場にとって大きな課題となっています。

また、当署において一般定期健康診断の結果、何らかの所見を有する労働者の割合はここ数年５割近い状況で推移しており、有所見率の増加傾向に歯止めがかからない状況にあります。

こうした状況を踏まえ、当署においては今年度「メンタルヘルス対策の推進」及び「定期健康診断における有所見率の改善に向けた取組」に重点を置き指導を行うこととしており、今般岐阜県医師会、武儀医師会、岐阜産業保健推進センターのご協力により、標記研修会を下記のとおり開催することとなりました。

つきましては、是非御取材いただきますようよろしくお願いします。

記

１．日　時　平成２３年７月１４日（木）午後１時３０分～３時３０分

２．場　所　ホテル マリーバル石金
美濃市松森３３３－１美濃インター隣
０５７５－３３－００８０（代）

３．対象者　岐阜県内の産業医及び当署管内の衛生管理者等の約２００人

４．内　容　講演①「職場におけるメンタルヘルス対策と健診有所見率改善のための産業保健スタッフの役割について」（６０分）
関労働基準監督署　安全衛生課長　早川　政志
講演②「モラルハラスメントによる健康障害」
－企業での実態と対策－（６０分）
岐阜産業保健推進センター相談員　植木　啓人　先生